

VGB-2659(H)型 n連棟

建築面積 14.98 × n m² (4.53 × n坪) (間口柱芯寸法) × (奥行柱芯寸法)

構造耐力上主要な部分の部材

部材名	形状	板厚	使用材料	有効細長比
前柱	□-85 × 115 × 26.5	1.6mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	71.0
後柱	□-115 × 115 × 26.5	1.6mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	53.9
中柱(左右)	□-85 × 145 × 26	1.6mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	76.2
後柱(中)	□-85 × 85	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	73.4
前柱(中)	□-85 × 85	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	74.9
桁前	└-336 × 79 × 20	1.6mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	
桁中	└-183 × 79 × 30	1.6mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	
桁後	└-153 × 85 × 14	1.2mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板	
梁	└-290 × 114	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	
壁パネル	└-25 × 701(350.5)	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板	
ブレース	—	7.0φ	一般構造用圧延鋼材	
ターンバックル	—	—	建築用ターンバックル胴	
アンカプレート	—	6.0mm 9.0mm	一般構造用圧延鋼材	

構造耐力上主要な部分以外の部材

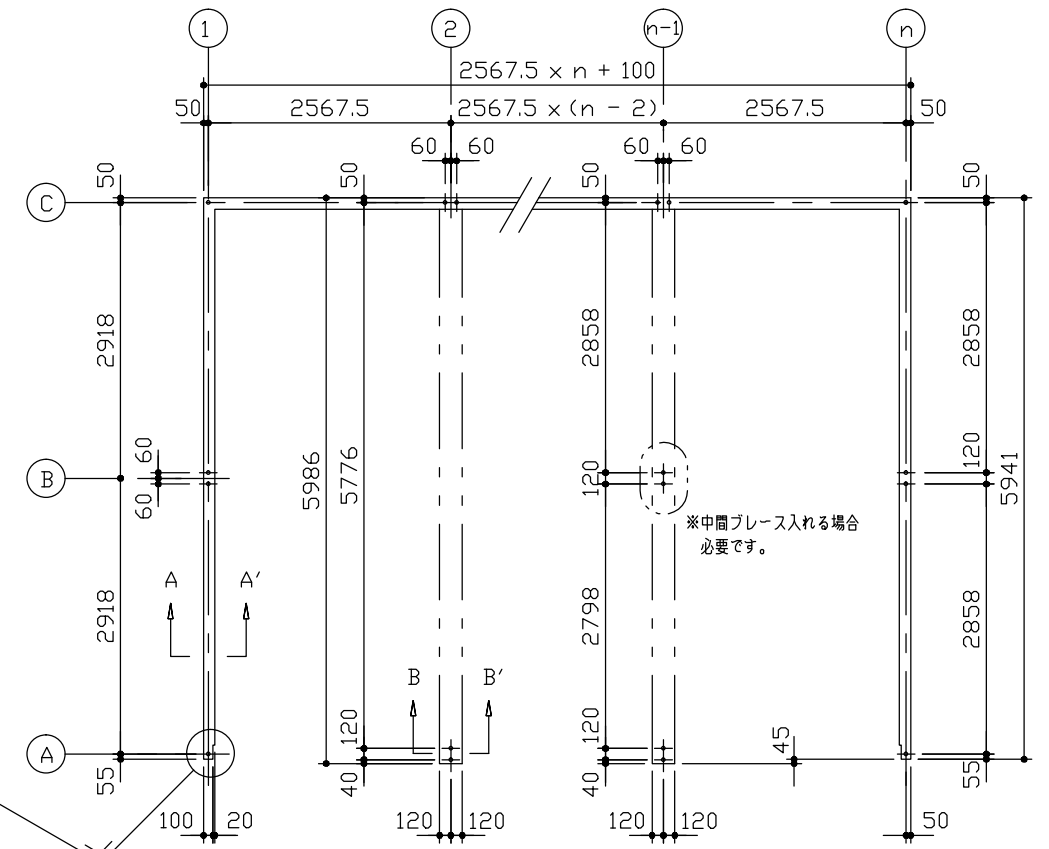
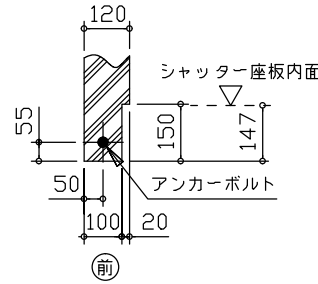
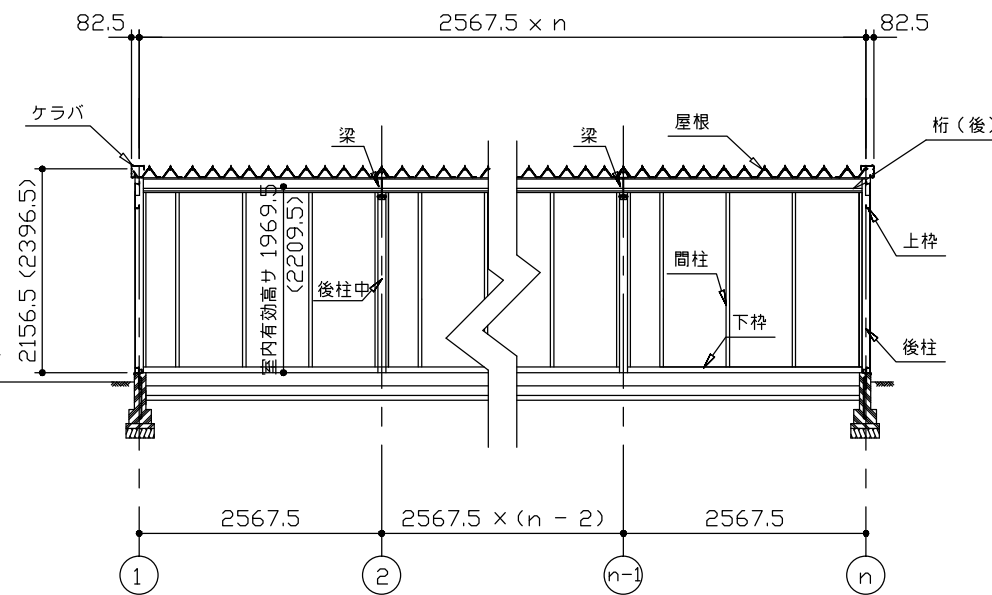
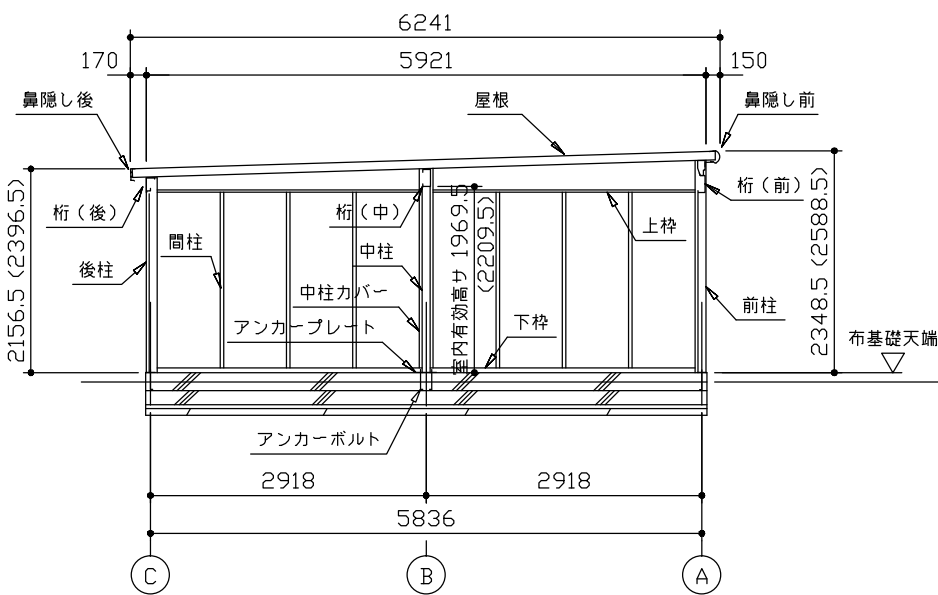
部材名	形状	板厚	使用材料
上枠	└-360 × 46	1.0mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板
下枠	└-70 × 60	1.0mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板
間柱	└-24 × 31	1.2mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板
屋根	vv-ヨドルーフ88	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板
シャッタースラット	└-14.5 × 71	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板
鼻隠し前	└-130 × 113	0.6mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板
鼻隠し後	└-122 × 48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板
ケラバ	└-130 × 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板

・連棟する場合、強度上、下記条件で連結部に中間ブレース、もしくは間仕切りセットが必要になります。

一般地型 (1200N/m²)

本体高さ	中間ブレース取付必要寸法
標準タイプ	間口10.57m以内に1ヶ所
Hタイプ	間口9.21m以内に1ヶ所

※風力(基準風速34m/s、地表面粗度区分III)による計算値



布基礎伏図 (S=1/80)

・布基礎断面図 縮尺=1/20

(地耐力 50kN/m²以上、コンクリート設計基準強度 18N/mm²以上)
基準風速 34m/s、地表面粗度区分Ⅱ

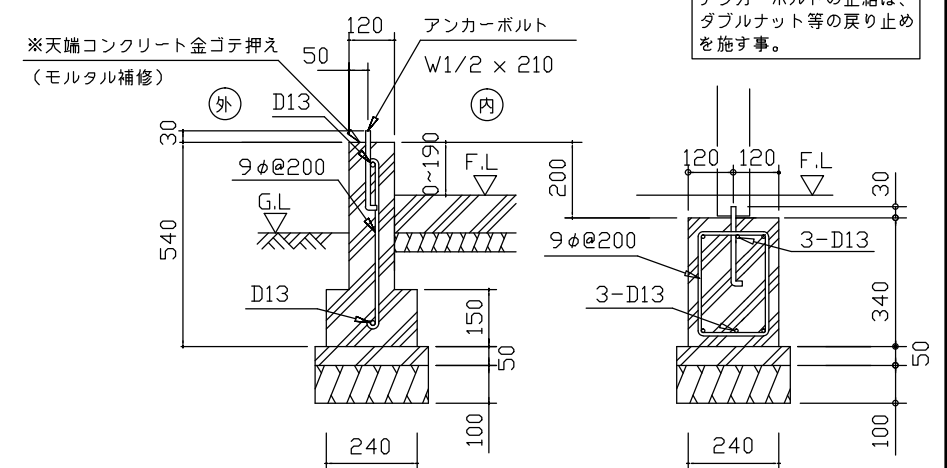
<上記条件での参考図です。>

注1) 地耐力が 50kN/m² 未満 (30kN/m² 以上)

の場合、底盤幅を300mmとし、かつ補助筋を入れて下さい。

注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。

側面断面図 (S=1/80)

正面断面図 (S=1/80)

A ~ A'断面

B ~ B'断面

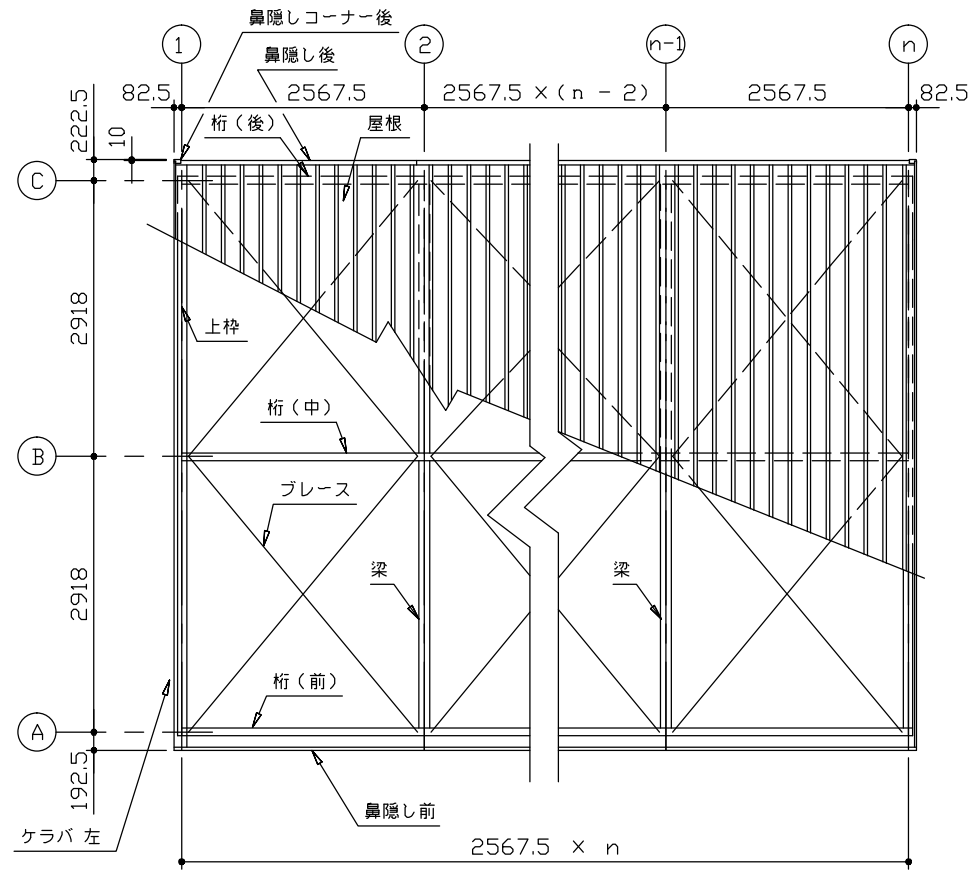
・() 内寸法ハ、Hタイプブレース。

・有効高さハ、基礎高さヲ含ミマセン。

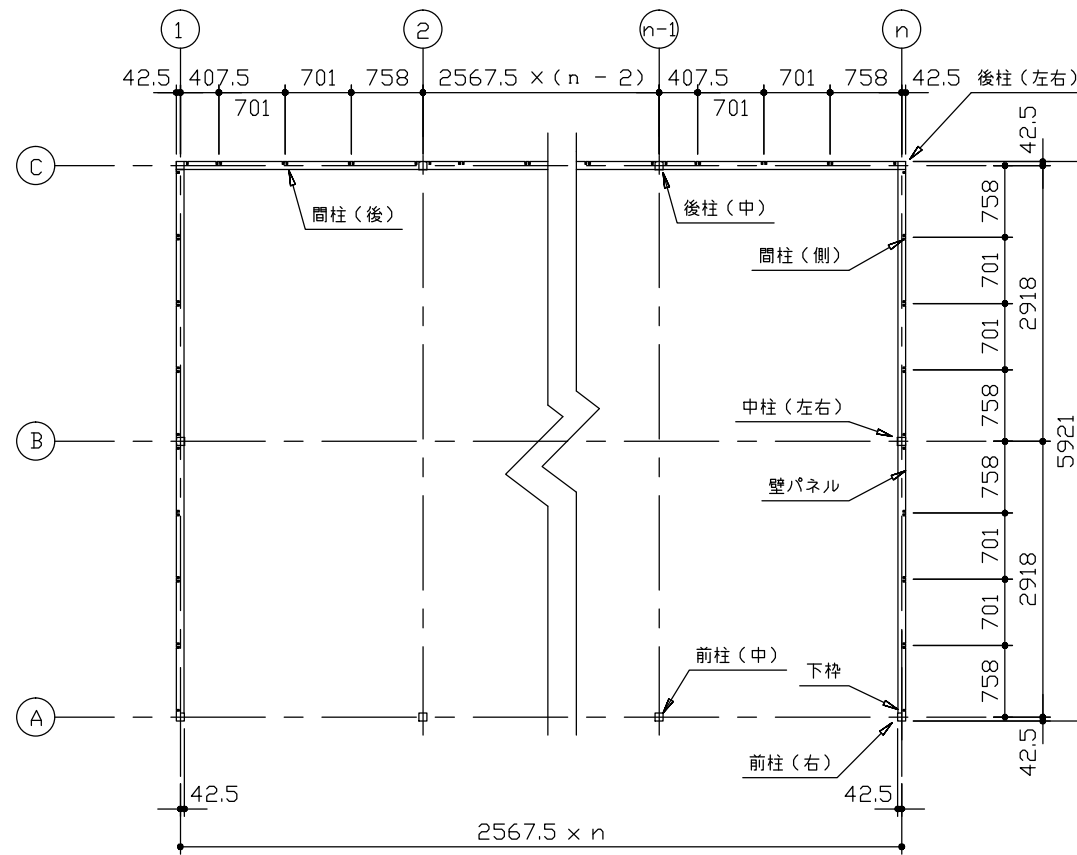
名称 ヨドガレージ ラヴィージュ VG型

機種名 VGB-2659(H)型 (n連棟)

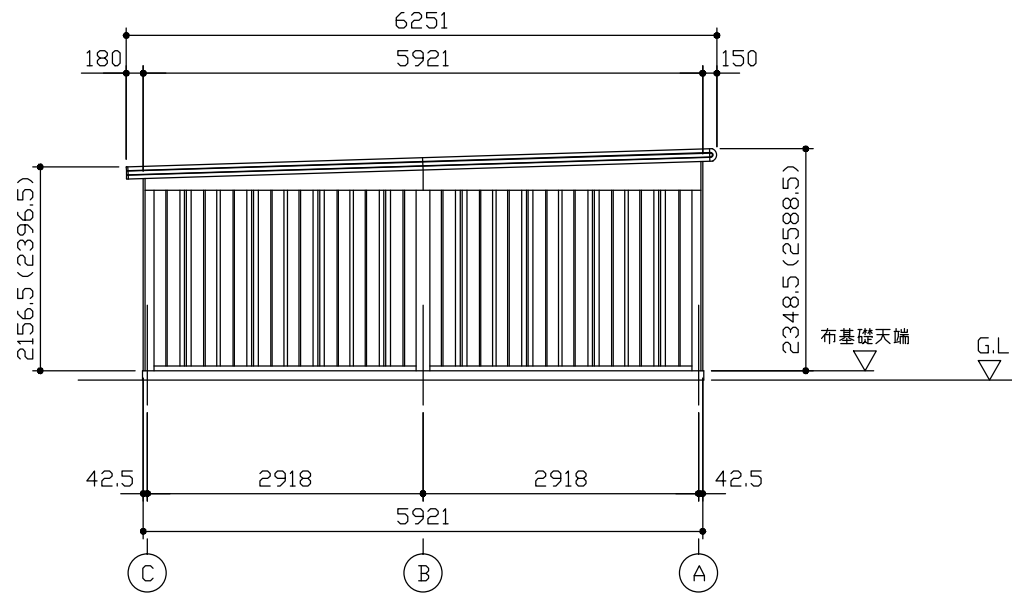
株式会社 淀川製鋼所



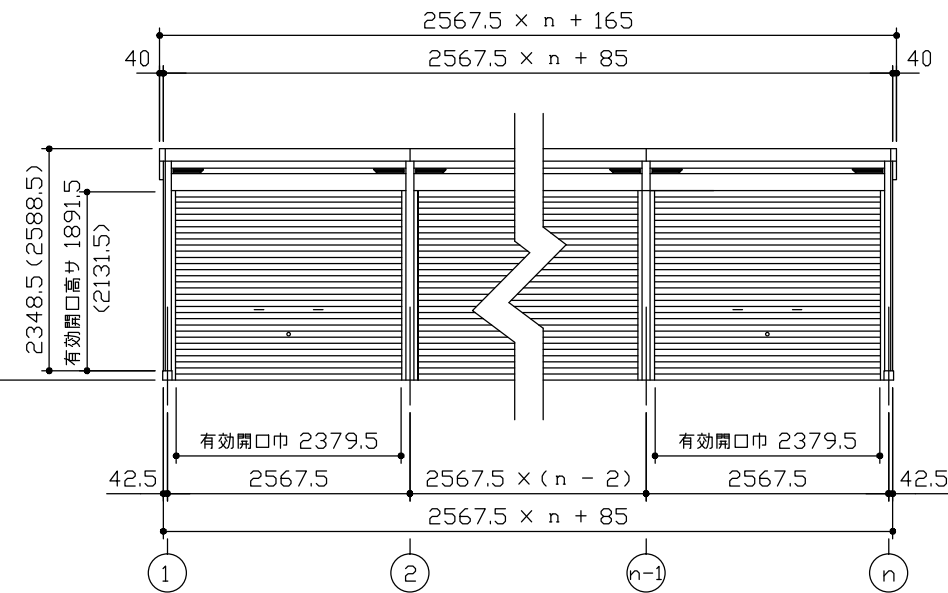
小屋伏図 (S=1/80)



平面図 (S=1/80)



側面立面図 (S=1/80)



正面立面図 (S=1/80)

連結する場合は強度上、下記間口寸法に一ヶ所
中間ブレース、もしくは間仕切りが必要になります。
標準タイプ：間口寸法 10.57m以内に一箇所
Hタイプ：間口寸法 9.21m以内に一箇所

・() 内寸法ハ、Hタイプヲ示ス。
・有効高さハ、基礎高さヲ含ミマセシ。

名称 ヨドガレージ ラヴィージュ VG型
機種名 VGB-2659(H)型 (n連棟)

株式会社 淀川製鋼所